

<p><b>(ア) 地域全体の利益を実現する最適な土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者不明土地、低未利用土地、空き家の発生抑制、土地の適切な管理、利活用</li> <li>・定住人口の増加に向けた空き家や農地の活用</li> <li>・市街地の活性化と土地利用の効率化</li> <li>・都市における歴史的まちなみの保存・再生・活用</li> <li>・京都市など大都市圏における生産性を高める土地の有効利用・高度利用</li> <li>・低密度化した地域における自然環境の再生</li> <li>・優良農地の確保、荒廃農地の発生防止、解消、効率的利用</li> <li>・森林経営管理制度や府内産木材の利用促進による森林の整備・保全</li> <li>・周辺の土地利用状況等に配慮した地域共生型の再エネ施設の立地誘導</li> <li>・慎重な配慮の下、土地利用転換の計画的な実施</li> </ul>	<p><b>(エ) 子育てしやすいまちづくり実現のための土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等と連携した子育てにやさしいまちづくりの推進</li> <li>・空き家・空き店舗の活用等による地域で子育てできる環境整備</li> <li>・子育て世帯の住まいの確保による定住促進</li> <li>・公園・広場の整備等の最適な土地利用による、子育てに適した環境づくり</li> </ul>
<p><b>(イ) 災害リスクを踏まえた安心・安全を実現する土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のリダンダンシーの確保のためのミッシングリンクの解消や幹線道路の整備等</li> <li>・流域治水協議会における情報共有・意見交換による「流域治水プロジェクト」の充実</li> <li>・河川改修や砂防・急傾斜地における土砂災害対策等のハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策の推進</li> <li>・「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づく危険な盛土の規制等</li> <li>・地籍調査の推進による災害に強い京都の実現</li> <li>・常設の危機管理センターの設置による、最先端の危機管理体制の構築</li> <li>・関西広域連合や国土交通省の緊急災害派遣隊(TEC-FORCE)等と連携した広域防災活動拠点の整備</li> <li>・原子力災害リスクへの対応強化</li> </ul>	<p><b>(オ) 京都産業の創出・成長・発展に向けた土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業創造リーディングゾーン」によるオープンイノベーション、京都産業の持続的発展</li> <li>・関西文化学術研究都市における高速道路等のインフラ整備による新たなまちづくり</li> <li>・市町村と連携した土地利用計画の見直しなどによる新たな事業用地の創出</li> <li>・商店街を活用した地域コミュニティの確保</li> <li>・地域の持続性確保に繋がる土地利用転換</li> <li>・地域の合意形成に基づく積極的な土地利用の最適化</li> </ul>
<p><b>(ウ) 環境と共生した社会づくりのための土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きょうと生物多様性センター」等による生物多様性の保全・継承と地域資源の利活用による人と自然が共生する地域社会の実現</li> <li>・山陰海岸ジオパークや自然公園等の自然風景地の保全・魅力発信</li> <li>・森・里・まち・川・海のつながりを確保した広域的な生態系ネットワークの形成</li> <li>・グリーンインフラやECO-DRRなどの自然環境の有する多様な機能を活用した地域課題の解決</li> <li>・カーボンニュートラルの実現に向けた「2030年度温室効果ガス排出量▲46%チャレンジ」の推進</li> <li>・府内各地にゼロカーボン地域を創出</li> <li>・里地里山等の自然資源の良好な管理と資源の利活用</li> <li>・自然公園などの優れた自然環境等の保全や管理</li> <li>・AIやロボット技術等の最新技術を活用したゼロエミッション社会の構築</li> <li>・地域が主体となってローカルSDGs事業を生み育て続ける自立した地域づくり</li> <li>・地域における生態系サービスの維持・向上</li> </ul>	<p><b>(カ) 文化観光の持続的な発展に向けた土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁の移転を契機に京都文化を国内外へ発信し、文化の力による豊かな社会を構築</li> <li>・文化資源の掘り起こしや磨き上げ等による様々な分野との交流を生み出す仕組みづくり</li> <li>・文化財修理技術の継承・発展、次世代への文化財継承・文化財修復拠点の設置</li> <li>・文化を観光等の様々な分野と融合させ、京都流の新たな価値を創造</li> <li>・京都の持つポテンシャルを活かした観光誘客等による交流人口増加</li> <li>・多様な関係者の連携や「京都観光アカデミー」の創設等による持続可能な観光づくり</li> <li>・もうひとつの京都による地域活性化と府域の均衡ある発展</li> </ul>
<p>※下線は国6次がない府独自項目又は記載内容を府の取組に合わせて変更するもの</p>	<p><b>(キ) 交通基盤の整備のための土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路を中心とした広域幹線道路網の整備、鉄道ネットワークの整備、京都舞鶴港の機能強化等による人流・物流の基盤づくり</li> <li>・持続可能な地域公共交通の確立による日々の生活の基盤づくり</li> </ul> <p><b>(ク) デジタル技術を活用した先進的な土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグデータやAIなどを活用したデジタル社会に即した豊かな地域づくり</li> <li>・地理空間情報等のデジタルデータ・リモートセンシング等のデジタル技術の徹底活用による土地利用・管理の効率化・高度化</li> <li>・土地の状況把握、まちづくり、農林業等の課題に応じたデジタル技術の開発、実装</li> <li>・情報通信網の整備、デジタルデバイド対策、サイバー空間の安心や信頼性の確保によるどこにいても働くことができる社会の構築</li> <li>・DX推進やメタバース活用のためのプラットフォーム構築</li> <li>・府民生活に身近な防災・交通等の分野におけるデジタル実装</li> </ul> <p><b>(ケ) 多様な主体の参加・協力による活力ある地域づくりのための土地利用・管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・学生等の力を生かした地域活力の共創</li> <li>・民間企業等の多様な主体の参加・連携による地域主体の取組を促進</li> <li>・二地域居住者等を含む関係人口の拡大と地域との関わりを深化</li> <li>・府民一人ひとりが管理の一端を担う府民参画による取組の推進</li> <li>・農村型地域運営組織(農村RMO)等の地域運営の土台となる連携体の形成</li> </ul>